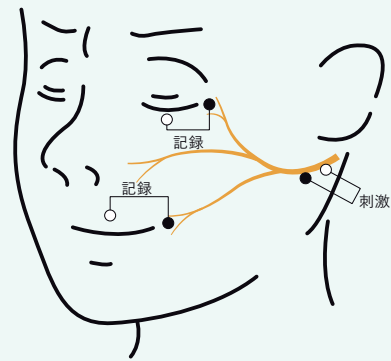


顔面神経伝導検査

ベル麻痺やハント症候群による
顔面神経麻痺の機能予後の予測に



実施
時期

発症から10～14日

検査
方法

顔面神経[茎乳突孔付近]を刺
激し、眼輪筋や口輪筋で複合筋
活動電位を記録。

患側と健側の比[ENoG]を
算出し予後予測の指標とする

<ENoG値>

40%以上：予後良好

10～39%：機能障害が残存する可能性がある

10%以下：予後不良



当院にて検査可能です。

ご予約は ☎096-345-8111 (代) (内線2570)
神経生理センターにてお受けいたします。
(平日8:30～17:00)

画像診断検査

地域の医療機関にご利用いただける画像診断サービスを提供しています。

MRI	CT	骨密度
Ingenia3.0T(Philips)/ Achieva1.5T(Philips)	Aquilion PRIME(Canon) 80スライス	Horizon Wi (HOLOGIC)

当院での共同利用検査は、保険診療(レセプト)の請求を当院で行い、自己負担分は患者さまにご請求いたします。(他科受診を除く)

● 予約方法 > お電話またはネットにて

① 電話予約

☎096-345-8195 (予約センター)

平日8:30～17:00

医療機関名と画像診断検査予約の旨をお伝えください。

② インターネット予約

富士フイルム
C@RNA connect
カルナ コネクト

● 患者さまの
当日の流れ

受付→診察(放射線科医師)→検査→【読影・データ作成】約30分→支払

※紹介状のご準備をお願いいたします。

※画像と読影結果は原則当日患者さまにお渡しします。(郵送も対応いたします)

ご不明な点がございましたら ☎096-345-8111 (代) 画像診断センターまでお問い合わせください。(平日8:30～17:00)

熊本機能病院 外来予約センター

はいキューゴ

☎096-345-8195 (直通)

受付時間 / 月～金 8:30～17:00

診療時間

月～金

8:30～11:00 / 13:00～16:00

休診日

土曜 / 日曜 / 祝日 / 年末年始

● 急患については上記にかかわらず救急センターにて診療いたします。

KUMAMOTO KINOH HOSPITAL
熊本機能病院

〒860-8518 熊本市北区山室6丁目8-1

TEL 096-345-8111 (代表) / FAX 096-345-8188

熊本機能病院公式サイト

<https://www.juryo.or.jp/>



熊本機能病院ホスピタルレター

キノウトアシタ

KINOH TO ASHITA

「総合診療救急センター」

地域の救急センターとして、質の向上を目指しています。

共同利用型検査のご案内 ○神経生理センター「顔面神経伝導検査」

○画像診断センター MRI、CT、骨密度

地域とともに、明日をつなぐ



総合診療救急センター

救急専門医および各科専門医による
救急対応をスムーズに行います。

専門スタッフが 24時間常駐

薬剤師、放射線技師、臨床検査技師が24時間常駐し、適切な対応を行います。

薬剤・検査の 即応体制

適切な薬剤管理と緊急調剤に対応し、X線・CT・MRIの撮影がいつでも可能です。

24時間 読影可能

オンコール体制により読影を行い、早期の診断につなげます。

専門医との連携

各診療科と密に連携を取り、必要に応じて迅速な専門的対応が可能です

紹介元機関の先生方との信頼関係を大切に、患者さまの病態に応じたスムーズな治療導入と、診療情報の速やかな共有に努めております。どうぞお気軽にご相談ください。

令和6年度救急センター受診者数

外科系	3,191名
内科系	2,223名
救急車受入台数	1,333台

救急センター 医師のご紹介

救急センター長
米満 弘一郎
(救急科専門医)



非常勤医師

井 清司
(救急科専門医)
楯 直晃
(救急科専門医)
山田 周
(救急科専門医)

ご活用ください『ナースカー』



- ・急変
- ・救急車を呼ぶほどではない
- ・転倒
- ・スタッフが同乗できない など

ご依頼は救急センターホットラインへ

☎096-345-8131

月～金 / 9:00～16:30

①

救急ホットライン
で直接
お受けします



②

当院の救急車
にて向かいます
サイレンは
鳴らしません



③

看護師が
申し送りを
お受けします



④

当院へ搬送
同乗は
必要ありません



※イメージ写真です。実際はご依頼の施設でお受けします。

症例紹介

症例
01

受傷約9時間後に再接着術施行し 良好な結果を得た母指切断の一例



整形外科[手外科]
院長

寺本 憲市郎
(整形外科専門医)

[50代男性 左母指切断]

202X.2月8:20頃 A県T町にてロープが左母指に巻き付いた状態で引っ張られ左母指のMP関節で、完全切断。ドクターヘリでA病院へ搬送。処置後、加療目的でA病院医師と新幹線→救急車にて当院へ搬送。
前腕側の屈筋腱が付着した状態で保存、残指に基節骨骨折を認めた。
同日16:49～切断四肢再接合術施行。
軟部組織は全生着し約2か月後退院。
社会復帰済。リハビリにて経過観察中。



受傷時



1年6ヶ月後

※本症例は、患者さまご本人の同意を得た上で掲載しております。

症例
02

骨折を繰り返し、骨バンクによる 同種骨を使用した骨移植術を 行った大腿骨骨折の一例



整形外科[下肢]
副院長

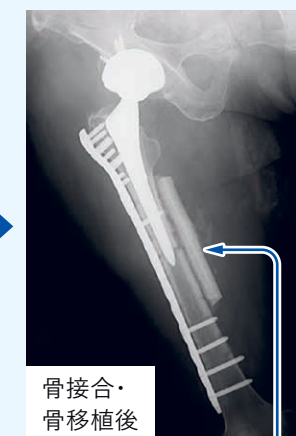
高橋 知幹
(整形外科専門医)

[70代女性 右大腿骨骨折]

3年前A病院にて人工関節置換術施行の際、ステム挿入時に骨幹部骨折、また今回の受傷3カ月前に作業中踏ん張った際、右大腿骨痛あり、再度A病院にて大腿骨骨接合術(自家骨移植)施行済。
20XX.7月10:00頃、トイレ後に右大腿部に痛みあり、歩行不能になった。救急車にて当院搬送。右大腿部のプレート折損を認めた。今回は大腿骨骨接合術(同種骨)施行。経過良好にて3か月後退院。



受傷時



骨接合・
骨移植後

同種骨

※本症例は、患者さまご家族の同意を得た上で掲載しております。

地域骨バンクは全国に2か所

特定非営利活動法人
熊本県骨バンク協会

難治性骨折への対応体制を
整えています

欠損補填などで自家骨が不足する症例に有用な「**同種骨**」を提供します。
骨は、人工関節置換術等での摘出やご遺体からの提供で、感染症スクリーニングや病理検査を経て滅菌処理の上、冷凍保存しています。協会では、医療機関との連携や情報提供も行い、適正な使用と普及に努めています。

2005年の開設時より、当院が事務局を担っております。
どうぞお気軽にご相談ください。

事務局 熊本機能病院 ☎096-345-8111(代)

